



## 慶應義塾大学ビジネス・スクール

# 井川化学工業 アメリカ工場

## ---アメリカにおけるチーム活動の試み---

- 5 イガワ・アメリカの、社長に次いでナンバーツーのポジションにあった日本人駐在員の関本氏は言った。

「日本とアメリカのチーム活動で最も違うのは、何のためにやっているかということだと思います。日本でなら「会社のために」というのがまず出るでしょうが、アメリカでは個人  
10 が優先します。ですから、ここで小集団活動をやるためには、各個人に根ざした必要性を作らざるを得ないのです。」

アメリカの広大な土地に建った工場見学を続け、日本人の出向者とアメリカの工場責任者の話を聞きながら、ケースライターたちは日本とアメリカでの経営活動や従業員の行動のど  
15 こに、そのような違いが現れるのであろうかと考えた。

## 沿革

井川化学工業は 1934 年に創業された。創業以来、多様な新製品を生産、販売している。  
20 近年の売上など財務指標の推移ならびに世界における生産・販売拠点は付属資料 1・2 のとおりである。

---

このケースは武蔵大学教授横田絵理と埼玉大学助教授末松栄一郎がクラス討議の目的のため作成した(2004年2月)。なお、本ケースの企業名、登場人物名は仮名である。 Prof.Suematsu and Prof.Yokota prepared this case as the basis for class discussion.

本ケースは慶應義塾大学ビジネス・スクールが出版するものであり、ケースの複製等についての問い合わせ先は慶應義塾大学ビジネス・スクール(〒223-8523 神奈川県横浜市港北区日吉本町2丁目1番1号、電話 045-564-2444、e-mail case@kbs.keio.ac.jp)。また、ケースの注文は <http://www.kbs.keio.ac.jp/case/index.html>。慶應義塾大学ビジネス・スクールの許可を得ずに、本ケースのいかなる部分の複製、検索システムへの取り込み、スプレッドシートでの利用、またはいかなる方法(電子的、機械的、写真複写、録音・録画、その他種類を問わない)による伝送は、これを禁ずる。

Copyright©2004 は横田絵理、末松栄一郎が保有する。